

公益社団法人日本技術士会北海道本部 事業委員会主催

技術研修会（日帰りコース①）のお知らせ

研修会開催内容

■日 時…………… 令和8年7月8日（水）

■見学先…………… ①空知単板工業株式会社（赤平市）、②旭川市旭山動物園 ※詳細は次頁参照

■行程（予定）

日	スケジュール（予定）
7 月 8 日 (水)	8:00 : 地下鉄東西線「新さっぽろ駅」4番出口付近 サンピアザ/デュオ駐車場横 出発（貸切りバスで移動）
	10:00 : 空知単板工業株式会社 見学
	11:30 : " 出発（移動中車内で昼食：お弁当を用意）
	13:30 : 旭川市旭山動物園 見学
	15:00 : " 出発
	17:30 : サッポロビール園到着（懇親会に参加される方はここで下車）
	17:45 : JR札幌駅北口到着（懇親会に参加されない方はここで下車・解散）

注）見学先及びスケジュールは、都合により変更することがあります。

■会 費…………… 研修会費：日本技術士会 会員・準会員 2,000円 北海道本部会友・一般 3,000円
（研修会費内訳：交通費、弁当代、動物園入園料、傷害保険）

懇親会費：一律5,500円（ジンギスカン食べ放題・飲み放題）

（※会費例：技術士会会員で研修会+懇親会参加=2,000円+5,500円=7,500円）

■募集人数… 30名（定員になり次第締切らせていただきます。）

■CPD…………… 本研修会参加者にはCPD行事受講証を発行いたします。

■申込方法… 日本技術士会北海道本部ホームページ（<https://www.ipej-hokkaido.jp/>）の「イベント情報」-「技術研修会（日帰りコース①）」からWebフォームによりお申し込み下さい。

※1 旭川市近郊の在住で、現地集合・解散での参加をご希望の方は、お問合せ下さい。

※2 Webフォームが利用できない環境の場合は、下記の点線以下を参照のうえ、北海道本部事務局までFAXまたはEメールでお申し込み下さい。

■申込み締切り… 令和8年6月30日（火）

お申込み後のキャンセルや変更は、7月3日（金）までに事務局までご連絡下さい。なお、懇親会について7月3日（金）までのご連絡がないキャンセルの場合、懇親会費の100%を後日いただきます。

■連絡事項…………… 定員締め切りの際は、研修会担当よりお断りの連絡をさせていただきます。

・後日参加者には詳細行程表・集合場所等をご案内致します。

■お問合せ先… 日本技術士会北海道本部 事業委員会研修会担当・鎌田

（株）ドーコン水工部 TEL：011-801-1530、E-Mail：mk1439@docon.jp

【技術研修会（日帰りコース①）参加申込書】※以下にご記入下さい

公益社団法人日本技術士会北海道本部 事務局（北村、三ッ石）行

TEL：011-801-1617

FAX：011-801-1618

（ふりがな）

氏 名 (日本技術士会会員・準会員、北海道本部会友、一般)
(いずれかをお知らせ下さい)

所 属 年 齢 歳

連絡先（TEL） (メールアドレス)

【懇親会】出席・欠席（どちらかをお知らせ下さい）

（注）Eメールで申込みの際は、『技術研修会（日帰りコース①）』参加希望を記載の上、①氏名（ふりがな）、②会員種別、③所属、④年齢、⑤連絡先（TEL）・（メールアドレス）、⑥懇親会参加有無をご記入のうえ、Eメール：uketsuke@ipej-hokkaido.jpまでお申し込み下さい。

いただいた個人情報は以下の目的に利用します。

- ・技術研修会（日帰りコース①）に関する参加登録
- ・参加登録された情報に関する確認、連絡、問い合わせ、回答
- ・講演会、セミナー、その他イベントに関する案内、回答
- ・技術士、技術士制度、日本技術士会に関する案内、回答

技術研修会（日帰りコース①）の見学先について

1. 空知単板工業株式会社

■施設概要 空知単板工業株式会社は、住宅用フローリングの表面材として用いられる「単板」および、それらを貼り合わせた「合板」の製造・販売を主力とする木材加工メーカーです。天然木を極めて薄くスライスする高度な加工技術を強みとし、単板製造分野において国内トップクラスの実績を有しています。同社は『森林と人類の共存共栄』を基本理念に掲げ、環境負荷の低減と資源の有効活用に取り組んでいます。道産原木の販売を通じた地域林業との連携、品質保持のための独自物流システムの導入などを通じ、持続可能な木材利用に貢献しています。

■見どころ 同社生産工場見学を通じて、木材加工技術と品質管理の実際、ならびに原木受入から製品出荷・流通に至る一連の工程を体系的に理解することができます。主な見どころは以下のとおりです。

- 単板製造工程における高度加工技術と設備構成
- 冷凍保管・真空輸送による品質維持技術
- 工場内の清潔性と作業効率を両立する管理手法
- 木材資源の循環利用を支える仕組みと地域連携



2. 旭川市旭山動物園

■施設概要 旭川市旭山動物園は、昭和 42 年(1967 年)に開園した日本最北の動物園であり、現在では北海道を代表する観光施設の一つとなっています。『伝えるのは、命』という理念のもと、動物本来の行動や能力を引き出す「行動展示」により全国的に高い評価を受けています。園内の展示施設は、動物の生態に配慮した環境づくりと、来園者が間近で観察できる構造が特徴であり、その多くは明確な設計基準が存在しない中で、関係者の試行錯誤により整備されてきた経緯があります。動物の行動特性や安全性、耐久性などを総合的に考慮した設計が随所に見られます。

■見どころ 単なる施設見学にとどまらず、技術的視点から「基準がない中での設計・判断プロセス」に着目して紹介して頂きます。公共施設整備における創意工夫や合意形成のあり方を考える貴重な機会となります。主な見どころは以下のとおりです。

- 行動展示を実現するための設計思想と空間構成
- 動物の力や行動に対応した安全設計（アクリル板等）
- ロープや遊具における素材選定と耐久性確保の工夫
- 基準が存在しない中での技術的意思決定プロセス
- 来園者と動物双方を満たす設計アプローチ

